

| 株 | 主 | 通 | 信 |

第 6 期 中 間 期

平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 9 月 30 日

ISETAN MITSUKOSHI HOLDINGS

撫子色 *nadeshiko*



三越伊勢丹ホールディングス

3 ごあいさつ

4 事業のご報告

8 百貨店での取り組み

12 成長事業への取り組み

14 エムアイカード社からの
お知らせ

15 CSR(企業の社会的責任)の
取り組み

16 連結財務諸表等

18 三越伊勢丹ホールディングスの概要

19 株式に関するお知らせ／株主メモ

20 グループ店舗のご案内

※当株主通信におきましては、「中間期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)」を「第2四半期」とする等の表記をしております。

グループスローガン

向きあって、その先へ。

グループの姿勢

真摯に、しなやかに、力強く、向きあいます。

お客さま一人ひとりと向きあいます。……ご要望とご期待に感動レベルのおもてなしでお応えします。

仲間たちと向きあいます。……学びあい、磨き合い、新たな価値を創造します。

株主の皆さまと向きあいます。……公正透明な経営を基盤に、誠意と成果でお応えします。

パートナーの皆さまと向きあいます。……顧客満足を合言葉に、最良の関係を築きます。

地域、社会、地球と向きあいます。……ありたい未来の実現に向けて貢献します。

将来にわたり、かけがえのない信頼関係を築いていきます。

グループビジョン

「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、

お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、

お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、

高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」となる。

世界随一の小売サービス業グループの実現に向けて

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申しあげます。

さて、平成25年9月30日をもちまして、株式会社三越伊勢丹ホールディングスの第6期中間期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の決算を行いましたので、ここに株主通信をお届けさせていただきます。

何卒、ご高覧いただきたくお願い申しあげます。

当中間期における日本経済は、一部におきまして、株高による消費マインドの好転や円安による企業収益の改善もあり、復調に向けて明るい兆しも見えてまいりました。

当社グループにおきましても、本年3月6日に大規模改装を終えグランドオープンいたしました伊勢丹新宿本店をはじめ、三越日本橋本店、三越銀座店などの首都圏店舗の売上高が毎月連続して前年を上回るなど、堅調な動きが広がっております。

しかしながら、小売業界におきましては、業種・業態を超えたさまざまなチャネルとの競争が激しさを増す中で、来春には消費増税も予定されており、さらなる成長を実現していくためには、企業の革新力を一段と高めていくことが必要となります。

このような中にありまして、今後当社グループは、事業基盤の効率化をさらに推し進めるとともに、新たな成長事業への取り組みを強化することで、次の飛躍に向けた礎を着実に築いてまいります。また、日々お客さまと真摯に向き合い、お客さまの期待を上回る新たな価値を創造し続けることで、グループビジョンである「世界随一の小売サービス業グループ」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役会長執行役員

石塚 邦雄

株式会社
三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役会長執行役員

石塚 邦雄

株式会社
三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員

大西 洋



チャレンジする風土を醸成し、新たな価値を創造し続けることで、企業価値の向上を図ってまいります。



株式会社三越伊勢丹ホールディングス
代表取締役社長執行役員

大西 洋

Q1. 当第2四半期の連結業績についてご説明ください。

当第2四半期は、売上高は6,028億円余(前年同期比104.9%)、営業利益は126億円余(同154.7%)、経常利益は134億円余(同201.4%)、四半期純利益は74億円余(同426.7%)となりました。

春先以降、特に首都圏において、消費が堅調に推移したことで、首都圏の基幹3店舗(伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店)の売



<三越日本橋本店>

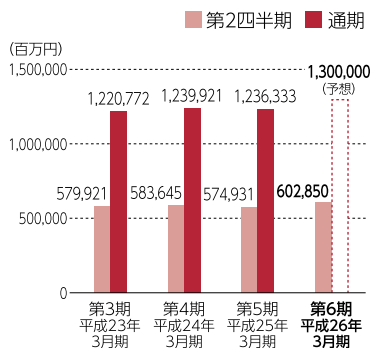
上高が好調に推移し、グループ全体の業績を牽引いたしました。

また、増収とともに販管費の効率的な使用に努めたことで営業増益を果たすとともに、経常利益と四半期純利益につきましても、持分法による投資損益の改善などにより前年同期を上回る結果となりました。

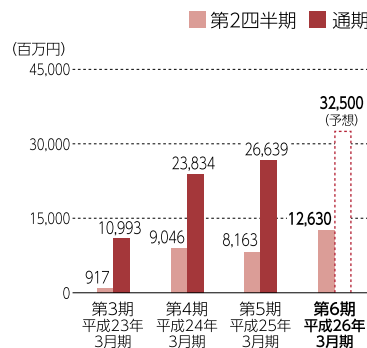
Q2. 伊勢丹新宿本店リニューアル後の状況をお聞かせください。

伊勢丹新宿本店は「世界最高のファッションミュージアム」をコンセプトに、大規模な改装に取り組み、本年3月6日にグランドオープンいたしました。今回

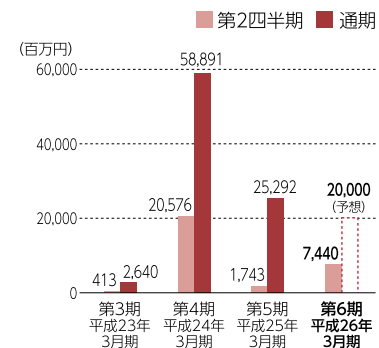
連結売上高推移



連結営業利益推移



連結四半期(当期)純利益推移



の改装では、ファッションをアートと捉え、商品の展開を12%程度減らすなど、思い切った改装を行いました。

最先端のライフスタイルを、お客さまに豊かな気分で感じていただくための新しい店づくりは大変好評で、オープン以来、多くのお客さまにお越しいただいております。

ただし、今回の取り組みがすべて成功したかという点、まだまだ修正すべき点は多々あると認識しており、お客さまからもさまざまなご意見を頂戴しております。従いまして、今後も引き続き、そうしたお声にお応えすべく、お客さまに感動していただける店づくりに取り組んでまいります。



<伊勢丹新宿本店>

Q3. 支店・地域百貨店の状況をお聞かせください。

当社グループの支店・地域百貨店につきましては、今までの店づくりでは地域のお客さまの消費志向やライフスタイルに対応しきれていないと考えて

おります。そのために、当社グループでは、「あたらしい地域百貨店のビジネスモデル」の構築に取り組んでおり、その第一弾として、伊勢丹松戸店を改装し本年10月2日にグランドオープンいたしました。



<伊勢丹松戸店>

同店では、ファミリー層を中心に、親子三世代のお客さまと一緒に楽しみたいだける店を実現しご好評をいただいております。

支店・地域百貨店につきましては、今後も、地域に最適な店づくりに取り組み、同地域に永続的に根ざす安定的な経営基盤の確立を目指してまいります。

Q4. 中期的な経営戦略の進捗はいかがですか。

当社グループは、グループビジョンである「世界唯一の小売サービス業グループ」の実現に向け、「百貨店のあるべき姿の実現」と「成長事業の拡大」に取り組んでおります。

「百貨店のあるべき姿の実現」におきましては、首

都圏の基幹3店の磨き上げや支店・地域百貨店の再構築に取り組むとともに、さらなる収益力の向上に向けて、サプライチェーンの改革に取り組んでおります。

サプライチェーンの改革については、概ねその基盤は構築できたと判断しており、特に、支店・地域百貨店では、取り組み規模が着実に拡大し、内容の進化・充実により、収益が大きく改善しております。今後は、お取引先様との協業や「オンリー・エムアイ」をはじめとした当社の独自商品の開発をさらに推進することで、収益力の強化とお客さま満足の上に取り組みでまいります。

一方で、「成長事業の拡大」については、WEB・通販などのダイレクト事業をはじめ、スーパーマーケットや宅配などの食品事業などを展開し、日常の中のあらゆる

商品やサービスを、多様なチャンネルを通じてご提供することで、支店・地域百貨店・小型店等とのシナジー効果を高めて、エリア競争力を強化してまいります。

<当社グループの企画商品「オンリー・エムアイ」>



**Q5. 小型店舗の出店状況について
お聞かせください。**

国内には現在240店ほどの百貨店がありますが、店舗数は減少傾向が続き、新たに店舗をオープンすることは極めて難しい状況です。

しかしながら、当社グループが今後も持続的に成長拡大していくためには、お客さまとの接点を増やしていくことが必要不可欠です。そういう観点から、「イセタン ミラー メイク&コスメティクス」や「イセタン 羽

田 ストア」など、当社グループの強みが発揮できる商品編集で、お客さまの生活行動圏に近い立地に出店を進めております。

本上期は、「イセタン ミラー 吉祥寺パルコ店」「イセタン アウトレットストア」のほか、初の試みとして5月に東名高速道路に「伊勢丹 海老名サービスエリア」を期間限定でオープンいたしました。



今後は、“点”から“面”に拡大すべく出店のスピードを上げて認知度の向上を図るとともに、仕入や販売などの運営の効率化も進めてまいります。



<イセタン ミラー 吉祥寺パルコ店>

Q6. 海外事業の状況はいかがですか？

まずは、国内を固めることに注力していますが、国内の市場が縮小する中で、当社グループの今後の成長は、海外事業の拡大なしにはありえません。現在、海外に37店舗を展開していますが、収益性の面では課題を残しています。

当社グループは、海外事業においてドミナント戦略を推進しています。ドミナント戦略とは、基幹店を



<シンガポール伊勢丹・スコッツ店>

中心にサテライト店を配置し、基幹店のブランドなどを最大限に活用することで、そのエリアでのシェアと収益の拡大を図っていくものです。つまり、収益力のある基幹店の存在が鍵になります。

従いまして、この先5~6年を目処にしっかりとした基幹店をつくることで、海外事業による利益をグループ全体の10%程度にまで引き上げたいと考えています。

**Q7. 通期の連結業績見通しを
お聞かせください。**

今後の小売業界につきましては、業種・業態を超えた競争が激化する中で、消費増税が予定されるなど、決して楽観できる状況ではないと考えています。そういった中で、当社の通期の連結業績につきましては、売上高は1兆3,000億円余(前年同期比105.1%)、営業利益は325億円余(同122.0%)、経常利益は340億円余(同99.4%)、当期純利益は200億円余(同79.1%)という見通しを立てております。

なお、当社は従来より中間配当を行わず期末に一括して配当を実施しておりますが、当期末の配当に



つきましては、昨年度より1円増配して1株当たり11円を考えております。

また、来春予定されている消費増税につきましては、業績に影響がないとはいえません。しかし、それをのり越えて前に進むのが経営の役割だと思っております。消費税については、さらにその先に第二弾の引き上げが予定されています。従って、今後の3年間は、これまで以上に厳しい期間になると覚悟しておりますが、むしろ、この状況をチャンスと捉え、経営に取り組むつもりでおります。

Q8. 今後の成長に向けてどのようなことが重要課題と認識していますか。

現在、中期的な経営戦略において取り組んでいる改革を確実に成し遂げ、将来の持続的成長につなげていくことが、最も重要な経営課題です。そのために、あえて高い目標を設定する「ストレッチ文化」をグループ内に定着させていきたいと考えています。例えば、「これをやろう」という時にリスク回避の側面が先行し、「やりたいことを実現するためにどうするか」という発想に至らないケースもあります。こうした雰囲気は極力排除し、チャレンジを続けることで成長に

つなげたいと考えています。

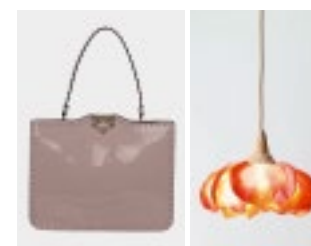
また、当社グループでは、女性が働きやすい環境整備を進めており、女性管理職の割合は、現在約2割となっております。しかしながら、今ある状況は、まだまだ十分ではないと認識しており、一日も早く、事業経営を担える人材が数多く育ってくれることを願っております。そのために、意欲ある女性に機会を与えるとともに、人事制度の変更などにも積極的に取り組んでまいります。

Q9. グループの将来像をどのように描いていますか。

当社グループが、長期的に目指す企業の姿は以下のように考えています。

- ◆世の中に存在するモノを組み合わせ、高い編集力でお客さまに新しい価値を提供していく企業
- ◆世界に目を向け、常に世界の代表的なライフスタイルをお客さまにご提案できる企業
- ◆立地する地域の行政・開発と一体となり、街の活性化に積極的に関わりを持つ企業

今の中期的な取り組みの先にある将来像は、このように描いていますが、これらが実現された時は、当



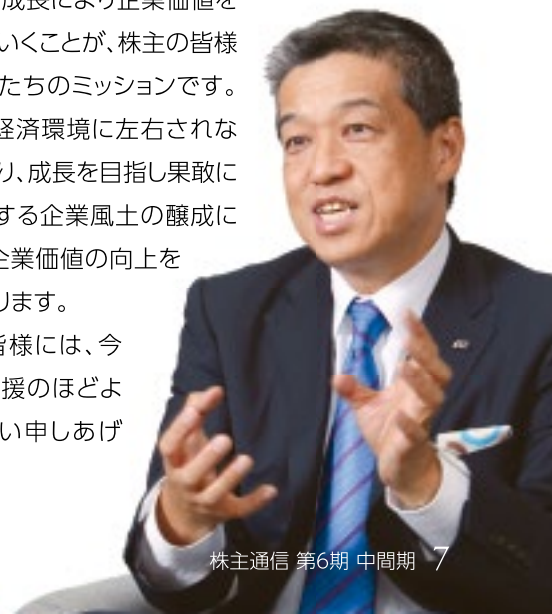
<ジャパン センシズ商品(和テイストのハンドバッグとライト)>

社グループは“百貨店”という業態では括れなくなっているかもしれません。

Q10. 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

持続的な成長により企業価値を常に高めていくことが、株主の皆様に対する私たちのミッションです。引き続き、経済環境に左右されない体質づくり、成長を目指し果敢にチャレンジする企業風土の醸成に取り組み、企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様には、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



百貨店での取り組み

1 伊勢丹新宿本店リニューアル

“世界最高のファッションミュージアム”が誕生

当社グループは、お客さまと向き合い、独自の価値を創造し、ご提供していくための店づくりを進めております。本年3月にリニューアルした伊勢丹新宿本店は、革新的で魅力的な店づくりで多くのお客さまからご好評をいただいております。

感動を提供する
革新的で魅力のある百貨店

平成19年から進めてきた再開発プロジェクトの総仕上げとして、平成24年5月から婦人服や婦人雑貨のフロア(B2、1、2、3、4階)を大規模に改装し、本年3月6日にグランドオープンいたしました。今回のリニューアルにおいては、“世界最高のファッションミュージアム”をコンセプトに、お客さまに感動と新しい価値をご提供していくために、革新的で魅力ある空間を創出いたしました。

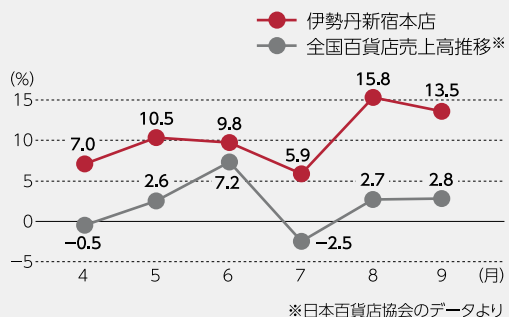


<3階 婦人・パーク>

グランドオープン以来、
売上は堅調に推移

グランドオープン直後から、同店には多くのお客さまにお越しいただいております。最新のファッションをアート作品のように展示する「アートフレーム」や、「パーク」でのイベントプロモーションなど、「見る」「触れる」「聞く」など、感覚に訴えかける店づくりがお客さまから大変ご好評をいただいております。売上高も堅調に推移しており、4月から9月の売上高は前年同期に比べ約10%増となりました。

平成25年度の業績推移(売上高対前年同月比)



1階 ハンドバッグ



3階 婦人リ・スタイル



本年10月にショッピングバッグをリニューアル

平成24年11月、伊勢丹はスコットランド発祥のタータン(格子柄の毛織物)のプロモーションに長く貢献してきたことが評価され、スコットランド・タータン協会から表彰を受けました。これを機に、オリジナルのタータン「マクミラン/イセタン」を製作。伊勢丹の象徴として愛されてきたショッピングバッグもリニューアルしました。



2 伊勢丹松戸店リニューアル

“こどもが、まんなか”をコンセプトに全館を刷新

当社グループは、支店や地域百貨店において、地域の特性やお客さまのニーズに合わせた店づくりに取り組んでおります。その一環として、本年10月には伊勢丹松戸店をリニューアルオープンいたしました。

親子三世代が 一緒に楽しめる店舗へ

中期経営計画で取り組んでいる「あたらしい地域百貨店のビジネスモデル」構築の第一弾として、来年開店40周年を迎える伊勢丹松戸店を改装し、本年10月2日にグランドオープンいたしました。“こどもが、まんなか”というコンセプトのもと、百貨店の編集力を活かし、各フロアに魅力的な専門店を効果的に配置することで、ファミリー層を中心に親子三世代のお客さまと一緒に楽しみいただける店舗を実現いたしました。



<オープニングセレモニー>

2階 コムサスタイル

カジュアルな雰囲気と空間の中で、ママ、パパ、お子さまと一緒にファッションを楽しめるコムサの新業態です。



6階 ボーネルンドあそびのせかい

親子と一緒に楽しめるあそび場「キドキド」と、世界のあそび道具を販売する「ボーネルンドショップ」からなる複合施設です。



8階 ジュンク堂書店

常磐線エリアで最大級の規模で、児童書や読み聞かせイベントのスペースを設け、子育てママを応援しています。



平成25年10月以降にリニューアルした
主な支店・地域百貨店



<新潟伊勢丹の
リニューアルを特集した
伊勢丹通信>



<仙台三越の食品フロア
リニューアルイメージ>



<高松三越の婦人靴フロア
リニューアルイメージ>



店舗	オープン日	店舗	オープン日
① 仙台三越	10月24日	⑥ 名古屋三越 星ヶ丘店	10月16日
② 新潟 伊勢丹	10月 2日	⑦ 高松三越	10月 5日
③ 新潟三越	11月16日	⑧ 松山三越	11月 6日
④ 伊勢丹 松戸店	10月 2日	⑨ 福岡三越	10月30日
⑤ 伊勢丹 浦和店	10月 2日	⑩ 岩田屋 本店	11月27日

3 クリスマスキャンペーン

特別な季節に、感謝の気持ちを込めて

本年もクリスマスシーズンを迎えます。三越・伊勢丹の各店舗では、「自然への感謝」をコンセプトとして、クリエイターとのコラボレーションによるクリスマスキャンペーンを開催いたします。



<“FINDING WONDER CHRISTMAS”キャンペーンポスター>

ワンダークリスマス
チャリティブック



伊勢丹のクリスマス FINDING WONDER CHRISTMAS

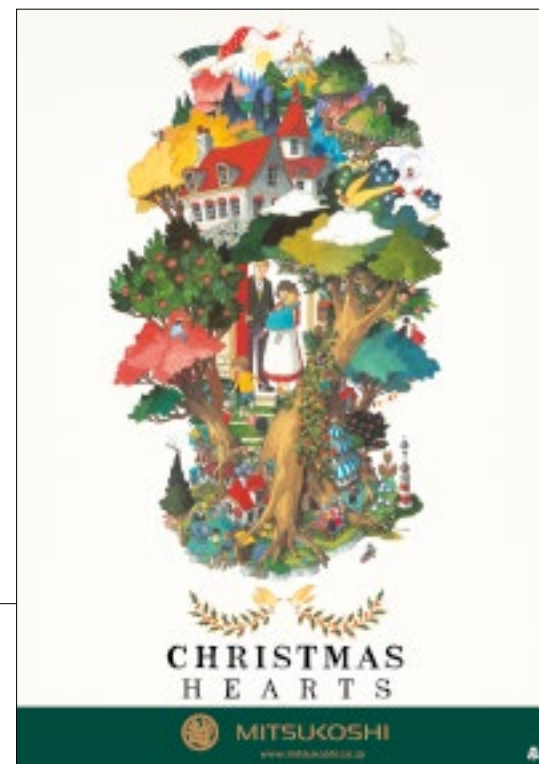
11月6日～12月25日

伊勢丹とアーティストのクラウス・ハーパニエミ氏がお送りするキャンペーンは、本年度で5回目となります。生物多様性をテーマとした独自の世界観で人気を高めるアートコレクションがクリスマスを彩ります。さまざまなオリジナルアイテムのほか、物語をお楽しみいただけるチャリティブックの販売や、スペシャルWEBサイトも展開いたします。

三越のクリスマス CHRISTMAS HEARTS

11月6日～12月25日

三越のクリスマスのテーマは「森の物語」です。人や自然を想う気持ち「HEARTS」を育む「森の家」をモチーフに、親しさ、優しさ、愛情にあふれるシーンを演出します。アーティストで画家のジュナイダ氏が描いたクリスマスカードを「森のポスト」から投函するチャリティキャンペーンをはじめ、心温まる企画を多数用意しております。



<“CHRISTMAS HEARTS”キャンペーンポスター>

三越オリジナル
クリスマスカードセット



4 商品展開

価値の高い商品をご提供していくための 店舗共通の施策を展開

当社グループでは、日本の伝統や技術を紹介するキャンペーンや百貨店ならではの付加価値の高い商品の開発などを通じて、ブランド価値のさらなる向上に取り組んでおります。

ジャパン センサイズ JAPAN SENSES

当社グループでは、日本を元気にしていくキャンペーン「ジャパン センサイズ」を、年間を通じて行っております。これは、世界で評価を得ている日本の魅力ある伝統や技術をお客さまにお伝えし、新しい価値として再認識していただく取り組みです。3年目を迎えた本年は「日本に遊ぶ、日本に楽しむ」をテーマに展開しており、日本人の遊び心やユーモアに触れ



<“ジャパン センサイズ”
キャンペーンポスター>

るイベントや、海外からも認められるクリエイターや職人の作品・技術を紹介するイベントを全店で実施しております。



<日本の夏を過ごす紳士アイテム>

この“ジャパン センサイズ”は、経済産業省の「2013年度クール・ジャパン戦略推進事業」の案件に採択され、平成26年2月には、日本の食、ファッション、アートを発信するイベントをニューヨークで開催する予定です。

ビジット・ジャパンへの取り組み

～オールジャパン訪日プロモーション(官民連携)～



Japan. Endless Discovery.

観光庁が主催する「ビジット・ジャパン」への取り組みの一環として、当社グループの海外店発行のカード会員約200万人に対し、日本国内の当社グループ店舗でお得にお買物できる「ゲストカード」を発行するなど、さまざまな特典を提供することで、訪日旅行や日本国内におけるショッピングの促進に努めております。

オンリー・エムアイ



お客さまの声を、三越伊勢丹の手で。

「オンリー・エムアイ」は、当社グループがお客さまの声にお応えするために企画した独自の商品で、百貨店ならではの付加価値の高い商品を開発しています。また、その企画から販売までを一貫して手掛ける業務フローを構築することで、お客さまが求める価値の創造に努めております。

NUMBER TWENTY-ONE

歩きやすく、旬なデザインのスニーカー。「洋服とコーディネートしやすいスニーカーを」というリクエストから生まれた商品です。



アブド

「バッグは軽いほうがいい」というお客さまの声にお応えして、軽くて、使いやすい形のトートバッグを開発しました。



Recouture

「物を大切にしたい」というお客さまへの提案として開発した、再生素材を活用した個性豊かなストールです。



成長事業への取り組み

1 小型店の展開

お客さまの多様なニーズにお応えする小型店を展開

当社グループは、外部の商業施設などへの小型店の出店に力を注いでおります。百貨店事業で培った強みを活かすことで、お客さまとの接点を広げ、多様なニーズにお応えしております。

百貨店の強みを活かした
小型店を開発

さまざまなお客さまの消費スタイルにお応えするために、「イセタン ミラー メイク&コスメティクス」や「イセタン 羽田 ストア」など小型店の出店に力を注いでおります。この秋からは、当社グループの編集力を活かした新しい小型店「MI PLAZA」も展開しています。

MI PLAZA MI PLAZÄ
MITSUKOSHI ISETAN

デイリー性が高く、お客さまのご来店頻度が高い雑貨や食品、ちょっとした記念日やイベント、お中元・お



<MI PLAZA MITSUKOSHI ISETAN 河辺店>

歳暮などのギフトに絞り、生活感度の高いお客さまが気軽にお立ち寄りいただける店づくりを目指しております。「MI PLAZA」につきましては、本年9月に東京都青梅市に1号店となる河辺店を、10月に仙台市に2号店となるタピオ店をそれぞれオープンし、地域のお客さまに上質な暮らしをご提案しております。

イセタン ミラー
メイク&コスメティクス

ISETAN
MIRROR
Make & Cosmetics

昨年3月にルミネ新宿2に1号店をオープンして以来、新規出店を続けております。本年4月には吉祥寺パルコにも出店し、現在6店舗を展開しております。同店



<イセタン ミラー ルミネ横浜店>

は、ラグジュアリーコスメ分野で圧倒的な強みを持つ伊勢丹新宿本店で培った販売ノウハウや商品調達力を最大限に活かし、約20の高級グローバルブランド化粧品や化粧品関連雑貨・小物をラインアップしており、「欲しいときに欲しいモノが揃うお店」として多くのお客さまからご評価をいただいております。

イセタン 羽田 ストア

ISETAN HANEDA STORE

羽田空港国内線第1旅客ターミナル内に、昨年4月にオープンした「イセタン 羽田 ストア」は、紳士用品雑貨を中心に、出張に欠かせない雑貨をはじめ、くつろぎのためのウェアやスキンケアアイテムを展開しています。また、シューシャインコーナーやカフェ・パーも設置し、ゲストルームやパーソナルアテンド等のサービスもご用意するなど、旅先に向かうお客さまにご好評をいただいております。



<イセタン 羽田 ストア>

2 販売チャネルの強化 / 海外展開

お客さまとの接点の拡大に向けて多彩な事業を展開

さらなる成長を目指し、国内でのWEB、スーパーマーケット、専門館などの事業とともに、海外での事業体制の強化に積極的に取り組んでいます。

WEB事業

ファッションニュース総合サイト[FASHION HEADLINE]や、伊勢丹新宿本店のリニューアルに伴いスタートした「ISETAN PARK net」など、WEBやソーシャルメディアを活用したサービスの強化を図っております。来年春には伊勢丹と三越のEC(電子商取引)サイトの統合を予定しており、品揃えは現在の3倍に当たる15万商品SKU(最少在庫管理単位)まで拡大する予定です。



<FASHION HEADLINE>
<http://www.fashion-headline.com/>



<ISETAN PARK net>
<http://isetanparknet.com/>

スーパーマーケット事業

「クイーンズ伊勢丹」では、高品質で安心・安全な商品、他のスーパーマーケットでは扱っていない独自性の

高い商品の提供など、グループの強みを活かしながら、地域のお客さまのニーズにお応えする店舗運営に取り組んでいます。本年5月には、東京都武蔵野市に20店舗目となる「武蔵境店」をオープンいたしました。今後も自社製造機能の活用や店舗オペレーションの改革を進め、高収益な事業構造の確立を目指してまいります。



<クイーンズ伊勢丹
武蔵境店>

専門館事業

お客さまの年齢層や消費スタイルに合わせた個性的なテナントショップを集めた専門館事業を推進しております。ヤング向けの「アルタ館」では、新宿、池袋、新潟の3店舗に加え、平成27年春には原宿に新規出店を予定しております。また、ファッション、イン



<原宿アルタ・
完成イメージ>

テリア、食品などを揃えた大型店「ラシック店」、デリー性の高いライフスタイル店舗の「三越恵比寿店」「三越多摩センター店」も展開しております。

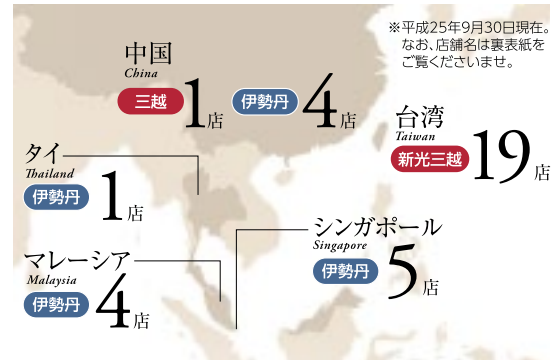
海外事業

海外においては、引き続き堅調な成長が見込まれる中国・東南アジア地域での市場の開拓と深耕に取り組んでいます。また、基幹店を中心に特定のエリアに集中して店舗を展開することで、マーケットシェアと収益を効率的に拡大させていく「ドミナント戦略」を推進しており、伊勢丹では、昨年5月にマレーシアで4店舗目となるワンウータマ店をオープンし、本年1月には中国で天津2号店をグランドオープンいたしました。さらに、本年末には、シンガポールで6店舗目となるジュロニースト店を、また、平成27年夏には中国に成都2号店のオープンを予定しております。



<成都伊勢丹2号店・
完成イメージ>

中国・東南アジア地域における店舗展開



トータルライフサービスのご案内

トータルライフサービスは、豊かな人生を送るための相続、資産運用、不動産、保険、葬儀に関するコンサルティングサービスです

エムアイカード社では、ライフステージの変化に伴うお悩みやご相談に真摯にお応えする「トータルライフサービス」を提供しております。サービスの相談は、お買物にお越しただく百貨店の窓口に設けているほか、保険のご相談はお電話や通信販売など利便性の高いサービスも提供しております。

お客さま一人ひとりのご要望に合わせた商品やサービスを提案し、ご納得いただけるまで専門資格を持つ専任のアドバイザーがご相談に応じております。

平成25年7月には、丸井今井札幌本店に保険カウンターを新たにオープンいたしました。



このようなときに

- 「財産を次の世代にしっかりつなぎたい」
- 「将来に向けて資産運用を始めたい」
- 「不動産の売却を考えている」
- 「今入っている保険は自分に合っているか検討したい」
- 「元気なうちにお葬式のことも考えておきたい」

ぜひ、ご相談ください

安心できる豊かな生活をいつまでも。

トータルライフサービス

MICARD Total Life Service



♥相続対策

遺言書作成に関するご相談や、保険・不動産を活用した相続対策等をご提案します。必要に応じ税理士・信託銀行等をご紹介します。

📊資産運用の開始/見直し

さまざまな投資方法やマーケット情報をお伝えし、お客さまに適した商品を厳選のうえご提案します。

🏠不動産の売買/活用

ご売却を検討中の物件について迅速に無料査定を行います。ご購入、賃貸、リノベーション、リフォームのご相談も承ります。

✚保険の見直し/新規加入

必要な保障は何か、マネープランと一緒に考え、13社*の取り扱い保険会社商品の中からご提案します。

*平成25年8月末時点の取り扱い生命保険会社数

🌸お葬式の生前予約/墓石購入

厳選した葬儀社と共にお葬式プランを考え、施行時にもあらゆるサポートを行います。三越伊勢丹のケータリングサービス(通夜振舞い)やご返礼品等もご紹介します。



サービスのご利用方法

ご来店によるご相談は——

トータルライフサービスをご利用いただける店舗

新宿	伊勢丹新宿本店 エムアイカードコンシェルジュ 伊勢丹会館 2階
日本橋	三越日本橋本店 新館8階
銀座	三越銀座店 M5階
浦和	伊勢丹浦和店 5階

※お客さまのご都合に合わせてご予約を承っております。

保険のご相談のみ
ご利用いただける店舗

札幌	札幌三越 本館5階 丸井今井札幌本店 一条館9階
仙台	仙台三越 本館地下1階
名古屋	名古屋三越米店 9階
大阪	JR大阪三越伊勢丹 地下2階
松山	松山三越 屋上階

※保険についてはお電話のみでのご相談サービスも行っています。



ホームページ
保険のご検討に「ぴったり保険ナビ」をご活用ください。

www.micard.co.jp

エムアイカード 保険 検索

ご予約 一部店舗はインターネットからもご予約いただけます。

☎ 0120-380-970 受付時間:午前10時~午後6時(1月1日を除く)
(通話料無料)



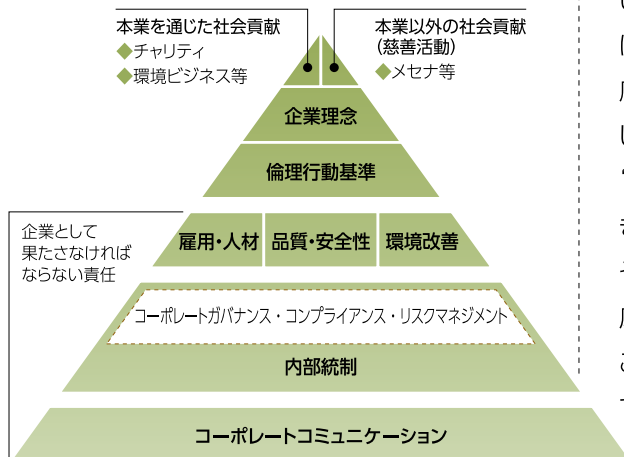
「企業活動を通じた社会貢献」を基礎に

当社グループは、コンプライアンス、雇用・人材、品質・安全性、環境改善など企業として果たすべき責任の履行はもとより、事業を通じて社会的課題の解決に力を注いでおります。

CSRに関する基本方針

当社グループは、「ステークホルダーの皆様と向きあい、将来にわたり、かけがえのない信頼関係を築く」ことを「三越伊勢丹グループ企業理念」として定めております。CSRに関する基本方針は、この企業理念を実践することであり、CSRの分野においても「世界随一の小売サービス業グループ」となることを目指しております。

「企業理念」の実践を通じた「CSR」の考え方



企業活動におけるCSR

お客様の“感動”に向けた取り組み

当社グループでは、お客様と接点を持つすべての従業員の呼称を「スタイリスト」と変更するとともに、優秀スタイリストの認定・表彰制度を設け、お客様に“感動”していただけるスキルと心構えを持つ人材の育成に努めております。また、伊勢丹の首都圏の支店5店舗には「伊勢丹ハートフルステーション」を設置し、お客様のシルバーライフを、“もっと素敵に”“より快適に”“楽しく”といった気持ちにお応えできるよう、商品を紹介しております。お客様それぞれのライフスタイルに応じた新しい提案を行うことで、“感動”につながっていきます。



<優秀スタイリストの表彰式>



<伊勢丹立川店ハートフルステーション>

日本のもの・ことづくり

日本には、国内外から高く評価されている伝統・文化が数多く存在します。しかし一方で、生産拠点が海外にシフトしたことなどにより、日本の伝統・文化を支える「産業」と、その産業が多くある「地方」の疲弊が進行しています。三越伊勢丹では「日本を元気にしていく」という志を掲げて、作り手(産地)と使い手(お客様)をつなげる役割を担い、「ジャパンセンスイズ」をはじめとする、さまざまな取り組みをグループで進めております。

福島県川俣町で作られる羽二重を使ったストール

世界で一番薄いストール素材、羽二重を使って製作した発色のよいストールは、お客様に高い評価をいただきました。



新潟県の伝統生地「小須戸縞」を使ったシャツ

生産が途絶えていた小須戸縞を日常使いできるシャツとして製品化し、復刻いたしました。



WEBサイトでは、品質・安全性、雇用・人材、環境改善など各取り組みを報告しております。

<http://www.imhds.co.jp/csr/>

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当第2四半期	科目	前連結会計年度	当第2四半期
	平成25年3月31日現在	連結会計期間 平成25年9月30日現在		平成25年3月31日現在	連結会計期間 平成25年9月30日現在
資産の部	1,223,677	1,217,400	負債の部	718,550	697,147
流動資産	252,872	242,148	流動負債	426,627	387,673
現金及び預金	38,630	38,358	支払手形及び買掛金	115,474	101,592
受取手形及び売掛金	110,793	100,178	1年内償還予定の社債	12,000	-
有価証券	159	149	短期借入金	43,463	71,939
商品及び製品	54,470	57,683	コマーシャル・ペーパー	46,000	17,000
仕掛品	58	115	未払法人税等	3,707	6,329
原材料及び貯蔵品	1,346	1,208	商品券回収損引当金	21,306	20,668
その他	50,297	47,454	引当金	13,493	11,229
貸倒引当金	△2,882	△3,000	その他	171,181	158,914
固定資産	970,769	975,125	固定負債	291,923	309,474
有形固定資産	728,679	726,823	社債	12,000	32,000
建物及び構築物(純額)	177,841	175,355	長期借入金	67,800	64,800
土地	532,926	532,166	繰延税金負債	152,698	152,996
その他(純額)	17,911	19,302	退職給付引当金	38,162	38,481
無形固定資産	50,429	50,316	引当金	26	51
ソフトウェア	13,430	13,194	持分法適用に伴う負債	3,991	4,276
その他	36,999	37,122	その他	17,244	16,868
投資その他の資産	191,659	197,985	純資産の部	505,127	520,253
投資有価証券	94,026	100,682	株主資本	500,124	503,352
その他	97,994	97,579	資本金	50,118	50,133
貸倒引当金	△361	△276	資本剰余金	325,077	325,092
繰延資産	35	125	利益剰余金	125,171	128,384
社債発行費	35	125	自己株式	△243	△257
合計	1,223,677	1,217,400	その他の包括利益累計額	△9,122	1,548
			その他有価証券評価差額金	△1,316	1,394
			繰延ヘッジ損益	0	△0
			為替換算調整勘定	△7,806	154
			新株予約権	1,441	1,255
			少数株主持分	12,683	14,096
			合計	1,223,677	1,217,400

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

財務状態のポイント

総資産に占める自己資本の割合で安全性をあらわす「自己資本比率」は、前連結会計年度末と比べて1.3ポイント改善し、41.5%となりました。



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成24年4月 1日より 平成24年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成25年4月 1日より 平成25年9月30日まで
売上高	574,931	602,850
売上原価	413,226	432,289
売上総利益	161,705	170,560
販売費及び一般管理費	153,541	157,930
営業利益	8,163	12,630
営業外収益	8,836	4,473
受取利息	461	451
受取配当金	455	508
負ののれん償却額	6,617	-
持分法による投資利益	-	2,010
その他	1,302	1,503
営業外費用	10,333	3,680
支払利息	789	676
固定資産除却損	283	734
持分法による投資損失	7,452	-
その他	1,808	2,269
経常利益	6,666	13,423
特別利益	-	69
固定資産売却益	-	29
投資有価証券売却益	-	39
特別損失	2,272	503
固定資産売却損	935	30
固定資産処分損	619	-
減損損失	-	386
投資有価証券評価損	717	-
その他	-	86
税金等調整前四半期純利益	4,394	12,989
法人税等	2,398	5,279
少数株主損益調整前四半期純利益	1,995	7,710
少数株主利益	252	270
四半期純利益	1,743	7,440

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成24年4月 1日より 平成24年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成25年4月 1日より 平成25年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△28,383	6,103
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,689	△9,058
財務活動による キャッシュ・フロー	17,974	△860
現金及び現金同等物に係る 換算差額	346	2,127
現金及び現金同等物の 増減額	△21,752	△1,687
現金及び現金同等物の 期首残高	53,017	35,781
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	-	701
現金及び現金同等物の 四半期末残高	31,265	34,794

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

収益状況のポイント

売上高は前年同期と比べ4.9%増加し、602,850百万円となりました。

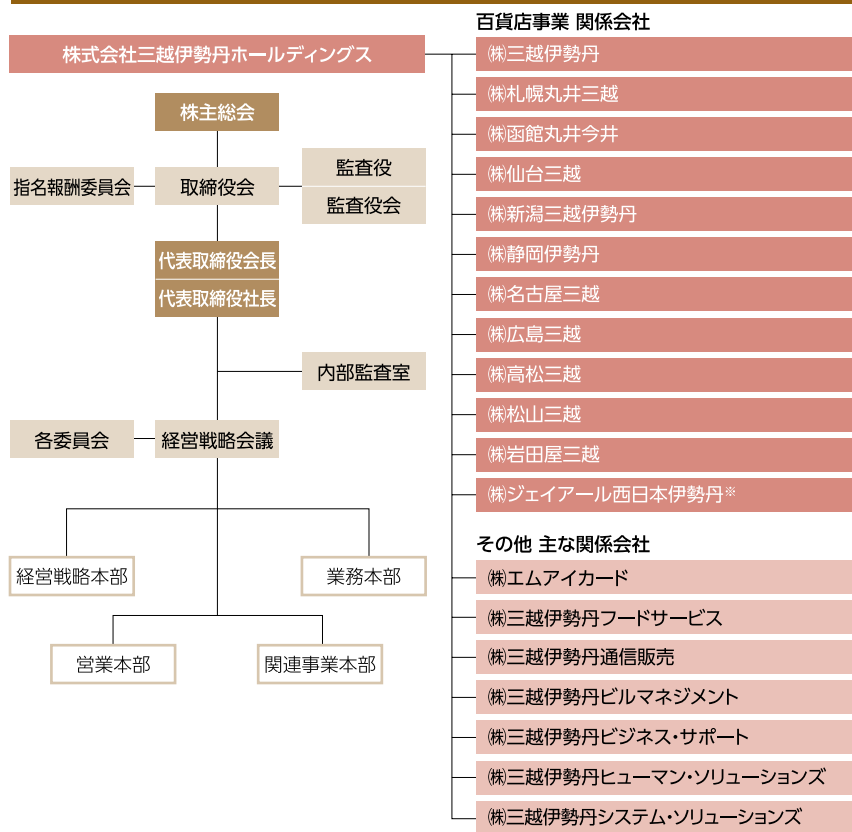
本業の収益力を表す「売上高営業利益率」は、前年同期と比べて0.7ポイント上昇し2.1%となりました。

グループ全体の収益力を表す「売上高経常利益率」は、前年同期と比べて1.1ポイント上昇し2.2%となりました。

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
 事業内容 百貨店業等の事業を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに附帯または関連する事業
 本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目16番10号
 会社設立 平成20年4月1日
 資本金 501億33百万円
 URL <http://www.imhds.co.jp>

組織図 (平成25年9月30日現在)



※ 持分法適用関連会社

役員 (平成25年9月30日現在)

地位	氏名	担当または重要な兼職の状況
代表取締役会長執行役員	石塚 邦雄	(株)三越伊勢丹代表取締役会長執行役員 積水化学工業(株)取締役*3
代表取締役社長執行役員	大西 洋	(株)三越伊勢丹代表取締役社長執行役員
取締役専務執行役員	中込 俊彦	営業本部長 兼 (株)三越伊勢丹取締役専務執行役員 営業本部長
取締役常務執行役員	赤松 憲	業務本部長 兼 (株)三越伊勢丹取締役常務執行役員 業務本部長
取締役常務執行役員	杉江 俊彦	経営戦略本部長 兼 (株)三越伊勢丹取締役常務執行役員 経営戦略本部長
取締役常務執行役員	竹田 秀成	関連事業本部長 兼 (株)三越伊勢丹取締役常務執行役員 関連事業本部長
取締役*1	畔柳 信雄	(株)三菱東京UFJ銀行相談役 本田技研工業(株)取締役*3 (株)三菱総合研究所取締役*3 三菱重工業(株)監査役*4 東京海上日動火災保険(株)取締役*3
取締役*1	檜田 松瑩	三井物産(株)取締役会長 (株)東京放送ホールディングス取締役*3 (株)TBSテレビ取締役*3 公益社団法人ベトナム協会会長 一般社団法人日本貿易会会長
取締役*1	井田 義則	いすゞ自動車(株)特別相談役
常勤監査役	高田 信哉	(株)岩田屋三越監査役 (株)ジェイアール西日本伊勢丹監査役
常勤監査役	小島 浩介	(株)札幌丸井三越監査役 (株)名古屋三越監査役
監査役*2	北山 禎介	(株)三井住友銀行取締役会長 富士フィルムホールディングス(株)取締役*3
監査役*2	飯島 澄雄	東京虎ノ門法律事務所 弁護士 北川工業(株)監査役*4 (株)商船三井監査役*4

(ご注意) 1. ※1印は社外取締役であります。
 2. ※2印は社外監査役であります。
 3. ※3印は当該株式会社における社外取締役であります。
 4. ※4印は当該株式会社における社外監査役であります。

会社の株式に関する事項 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000株
発行済株式の総数	394,817,614株
	※ うち自己株式数は、241,472株であります。
株主数	164,890名

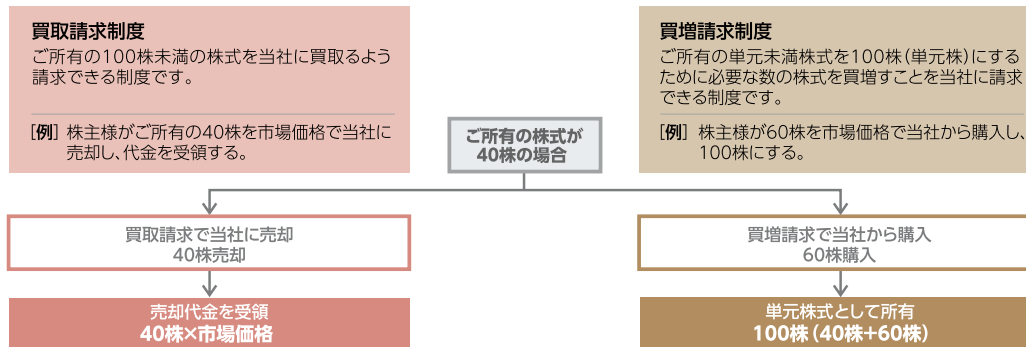


単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元株式数は100株となっております。1株から99株の単元未満株式につきましては、株式市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。

当社ではそのようなご不便を解消するため、単元未満株式を当社が買取する制度および株主様が当社に対して買増しを請求できる制度を実施しております。

単元未満株式の買取・買増制度の概要



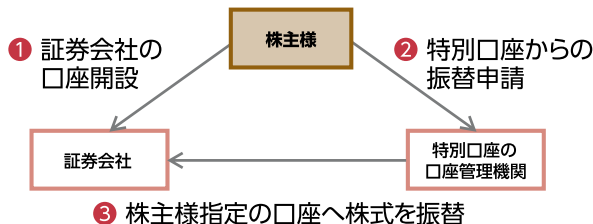
- (ご注意) 1. 単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、特別口座に記録されている場合は特別口座管理機関にお問い合わせください。
2. 当社では、単元未満株式の買取・買増に係る手数料は無料とさせていただきます。(ただし、証券会社等によっては、取次手数料が発生する場合がございます)

特別口座をご利用の株主様へのご案内

特別口座とは、株券電子化移行時に株券を証券保管振替機構(ほふり)に預託しなかった株主様のために、当社が信託銀行に開設した口座です。

特別口座に記録されている株式は、そのままでは売却ができません。株式に係るお手続きを容易にするためにも、証券会社に口座を開設し、特別口座からの振替を行ってください。

特別口座から証券会社の口座への振替のお手続き(①②③がお手続きの順番となります)



- (ご注意) 1. ②のお手続きにつきましては、右記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。(旧)岩田屋の株主様については、みずほ信託銀行、それ以外の株主様については、三菱UFJ信託銀行が特別口座の口座管理機関となっています。
2. すでに証券会社等に口座をお持ちの場合、①のお手続きは必要ございません。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.imhds.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、特別口座の口座管理機関の全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 当社と株式会社岩田屋の株式交換の効力発生日の前日である平成21年10月14日において、株式会社岩田屋の株式を特別口座でご所有の株主様につきましては、みずほ信託銀行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、(旧)株式会社岩田屋株式にかかる特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
(旧)株式会社岩田屋株式にかかる特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(通話料無料)

株式会社三越伊勢丹ホールディングスは、中間配当を行わず、期末に一括して配当を実施する予定でございます。

国内の主要店舗

(株)三越伊勢丹	三越				
	日本橋本店	〒103-8001	東京都中央区日本橋室町1-4-1	03-3241-3311 (代表)	
	銀座店	〒104-8212	東京都中央区銀座4-6-16	03-3562-1111 (代表)	
	千葉店	〒260-8631	千葉県千葉市中央区富士見2-6-1	043-224-3131 (代表)	
	恵比寿店	〒150-6090	東京都渋谷区恵比寿4-20-7	03-5423-1111 (代表)	
	多摩センター店	〒206-8543	東京都多摩市落合1-46-1	042-357-7111 (代表)	
	伊勢丹				
	新宿本店	〒160-0022	東京都新宿区新宿3-14-1	03-3352-1111 (代表)	
	立川店	〒190-0012	東京都立川市曙町2-5-1	042-525-1111 (代表)	
	松戸店	〒271-0092	千葉県松戸市松戸1307-1	047-364-1111 (代表)	
	浦和店	〒330-0063	埼玉県さいたま市浦和区高砂1-15-1	048-834-1111 (代表)	
	相模原店	〒252-0303	神奈川県相模原市南区相模大野4-4-3	042-740-1111 (代表)	
	府中店	〒183-0023	東京都府中市宮町1-41-2	042-334-1111 (代表)	
(株)仙台三越	仙台三越	〒980-8543	宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15	022-225-7111 (代表)	
(株)名古屋三越	名古屋三越栄店	〒460-8669	愛知県名古屋市中区栄3-5-1	052-252-1111 (代表)	
	名古屋三越星ヶ丘店	〒464-8661	愛知県名古屋市中区星ヶ丘元町14-14	052-783-1111 (代表)	
	ラシック店	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-6-1	052-259-6666 (代表)	
(株)広島三越	広島三越	〒730-8545	広島県広島市中区胡町5-1	082-242-3111 (代表)	
(株)高松三越	高松三越	〒760-8639	香川県高松市内町7-1	087-851-5151 (代表)	
(株)松山三越	松山三越	〒790-8532	愛媛県松山市一番町3-1-1	089-945-3111 (代表)	
(株)静岡伊勢丹	静岡伊勢丹	〒420-0031	静岡県静岡市葵区呉服町1-7	054-251-2211 (代表)	
(株)札幌丸井三越	丸井今井札幌本店	〒060-0061	北海道札幌市中央区南1条西2-11	011-205-1151 (代表)	
	札幌三越	〒060-0061	北海道札幌市中央区南1条西3-8	011-271-3311 (代表)	
(株)函館丸井今井	丸井今井函館店	〒040-0011	北海道函館市本町32-15	0138-32-1151 (代表)	
(株)新潟三越伊勢丹	新潟三越	〒951-8530	新潟県新潟市中央区西堀通五番町866	025-227-1111 (代表)	
	新潟伊勢丹	〒950-0909	新潟県新潟市中央区八千代1-6-1	025-242-1111 (代表)	
(株)岩田屋三越	岩田屋本店	〒810-8680	福岡県福岡市中央区天神2-5-35	092-721-1111 (代表)	
	岩田屋久留米店	〒830-8510	福岡県久留米市天神町1-1	0942-35-7111 (代表)	
	福岡三越	〒810-8544	福岡県福岡市中央区天神2-1-1	092-724-3111 (代表)	
(株)ジェイアール西日本伊勢丹	ジェイアール 京都伊勢丹	〒600-8555	京都府京都市下京区 烏丸通塩小路下ル東塩小路町901	075-352-1111 (代表)	
	JR大阪三越伊勢丹	〒530-8558	大阪府大阪市北区梅田3-1-3	06-6457-1111 (代表)	

海外の主要店舗

イタリア	ローマ三越 (ショップ)
アメリカ	オーランド三越 (ショップ・レストラン)
中国	花園飯店 (上海) 三越 上海梅龍鎮伊勢丹 天津伊勢丹 天津伊勢丹2号店 成都伊勢丹
台湾	新光三越 台北南西店一号館 桃園駅前店 台北南西店二号館 新竹中華店 台北南西店三号館 台中中港店 台北駅前店 嘉義垂楊店 台北信義新天地A11 台南中山店 台北信義新天地A8 台南西門店 台北信義新天地A9 高雄三多店 台北信義新天地A4 高雄左營店一号館 台北天母店 高雄左營店二号館 桃園大有店
シンガポール	シンガポール伊勢丹・スコッツ店 シンガポール伊勢丹・オーチャード店 シンガポール伊勢丹・カトン店 シンガポール伊勢丹・タンピネス店 シンガポール伊勢丹・セラングーン店 <small>※上記店舗のほかシンガポール伊勢丹・マンゴブティック (専門店) が ございます。</small>
マレーシア	クアラルンプール伊勢丹・LOT 10店 クアラルンプール伊勢丹・KLCC店 クアラルンプール伊勢丹・THE GARDENS店 クアラルンプール伊勢丹・ワンウータマ店
タイ	バンコク伊勢丹

本社 ● 〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目16番10号

ホームページアドレス ● <http://www.imhds.co.jp>

証券コード ● 3099



三越伊勢丹ホールディングス

撫子色 *nadeshiko* ro

撫子は、山野や川辺に多く自生する多年草で秋の七草の一つ。夏から秋にかけて柔らかな淡紅色の花をつける。撫子の美しい花卉のような撫子色は、古くから襲 (かさね) の色目などとして用いられてきた。